【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【公開番号】特開2016-178590(P2016-178590A)
【公開日】平成28年10月6日(2016.10.6)
【年通号数】公開・登録公報2016-058
【出願番号】特願2015-59155(P2015-59155)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｈ　3/02　(2006.01)
Ｈ０３Ｈ　9/215　(2006.01)
Ｈ０３Ｈ　9/19　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/113　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/332　(2013.01)
Ｈ０１Ｌ　41/053　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/311　(2013.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｈ　3/02　C
Ｈ０３Ｈ　3/02　D
Ｈ０３Ｈ　9/215
Ｈ０３Ｈ　9/19　J
Ｈ０１Ｌ　41/113
Ｈ０１Ｌ　41/332
Ｈ０１Ｌ　41/053
Ｈ０１Ｌ　41/311

【手続補正書】
【提出日】平成30年2月16日(2018.2.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基部と、
前記基部から並んで延出し、表面に溝部が形成された第１および第２の振動腕と、を備え、
前記溝部は、前記延出する方向と交差する方向の断面において、前記溝部の幅が開口部から底面部側に向かって広がるように形成され、且つ、側面部と前記底面部との間に湾曲状の形状を有することを特徴とする振動片。
【請求項２】
振動片の製造方法であって、
ウェーハに溝部を形成する溝部形成工程を有し、
前記溝部形成工程は、
前記ウェーハに金属マスクを形成するマスク形成工程と、
前記溝部の側面部に保護膜を形成しながら連続的にドライエッチングすることにより、前記溝部の幅が前記溝部の開口部から底面部側に向かって広がり、且つ、前記側面部と前記底面部との間に湾曲状の形状を有する前記溝部を形成するドライエッチング工程と、
を有していることを特徴とする振動片の製造方法。

【請求項３】
　請求項１に記載の振動片と、
　前記振動片を収容するパッケージと、
を備えていることを特徴とする振動子。
【請求項４】
　請求項１に記載の振動片と、
　前記振動片を駆動する回路を含む電子部品と、
　前記振動片および前記電子部品を収容するパッケージと、
を備えていることを特徴とする発振器。
【請求項５】
　請求項１に記載の振動片を備えていることを特徴とする電子機器。
【請求項６】
　請求項１に記載の振動片を備えていることを特徴とする移動体。